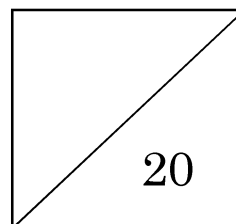


基本英作文 401 曜日 _____ 氏名 _____ 190730

次の日本語を英文に直しなさい。
括弧内は状況説明なので訳す必要はない。



- 1 水は 100 度に達したら、沸騰(boil)します。
(度は記号でなく英語で書いてください) (5)

- 2 (B のみ訳しなさい) (5)

A: (友達の家からの帰りに) 時計をあなたの家に忘れたみたい。見なかった？

I think I left my watch at your house. Have you seen it?

B: 見てないなあ。でも、家に戻ったらしてみるね。もし見つけたら、電話するね。

- 3 もし、彼女の電話番号を知っていたら、電話するんだけど。(5)
(実際には、電話番号は知らないから電話しない)

- 4 もし、彼女がしっかり勉強していたら、試験に通っていただろうに。(5)

基本英作文 401 解答例 If 節 1900730

- (0) 結果が100%予想できる事実を表すときには、[**If/When** 主語 現在形, 主語 現在形]です。
 (1) 結果は予想できないが、十分な可能性がある時は、[**If** 主語 現在形, 主語 **will**]です。
 (2) 現在の事実と異なる仮定のときは、[**If** 主語 過去形, 主語 **would**]です。
 (3) 過去の事実と異なる仮定のときは、[**If** 主語 過去完了形, 主語 **would have**]です。

- 1 水は100度に達したら、沸騰(boil)します。(5)

If/When water reaches 100 degrees (centigrade), it boils.

If/When heated, water boils at 100 degrees Celsius.

結果がいつでも正しい事実を表すときには、If 現在形+ 現在形 です。

Water turns into/becomes vapor. 水蒸気は元々水だったので、この表現は OK ですが、(turns into の方がより自然) Water turns into/becomes 100 degrees. とはいえません。100 degrees は、元々水ではないので。「到達する」×gets ×goes (up) to も不適切。水が100℃に上がるのではなく、温度が上がるから (The temperature goes up to 100℃.なら OK)

- 2 (友達の家からの帰りに) A: 時計をあなたの家に忘れたみたい。見なかった?(5)

I think I left my watch at your house. Have you seen it?

B: 見てないなあ。でも、家に戻ったらみてみるね。もし見つけたら、電話するね。

No, but I'll look (for it) / [take a look] when I get home.

If I find it, I'll call you.

実際に見つかる可能性があると思っている場合には、If 現在形+ will を用います。

最初の発言の「見なかった?」では、see, 返事の「見てみる」では、look 探す、または take a look が適切です。○check, ○search for it も可。×check it, ×search it はダメ。

get home の home は、「家に、家へ」という意味の副詞です。get home は「家に着く」ことを表し、go home は、「家に向かう」ことを表します。ここでは、家に着いたら探してみることなので、go home は不適切です。○get back home, ○get back は OK。今は、家に着いていない状態なので、×come back home, ×come back, ×come home

- 3 もし、彼女の電話番号を知っていたら、電話するんだけど。(5)

(実際には、電話番号は知らないから電話しない)

If I knew her phone number, I would call her.

現在の事実と異なる仮定のときは、If 過去形+ would です。(仮定法過去)

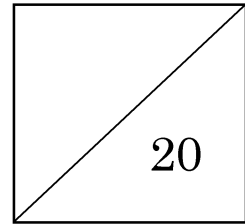
- 4 もし、彼女がしっかり勉強していたら、試験に通っていただろうに。(5)

If she had studied hard/harder, she would have passed the exam.

過去の事実と反する仮定は、If 過去完了形+ would have を用います。(仮定法過去完了)

基本英作文 402 曜日 _____ 氏名 _____ 200302

次の日本語を英文に直しなさい。
括弧内は状況説明なので訳す必要はない。



- 1 (明日の飛行機は早いので) (私は) 明日早起きしないといけない。
- 2 (僕は) 明日、早起きをする必要はない。
- 3 学生は授業中携帯電話(cell phone)を使ってはいけません。(学生手帳の中の文面)
- 4 すべての問題に答えなさい。答えは、必ずペン (インク) で書くこと。
- 5 (このケーキは絶対美味しいので) それ、必ず食べてね。

基本英作文 402 解答例 have to /must

200302

「ねばならない」は、義務→have to 話者の強い意思→must が基本です。

must が使われるのは、「話者の強い意思」、「に違いない」、must not で「してはいけない」ということを表現する場合」です。それ以外は、have to を使います。

1 (明日の飛行機は早いので)(私は)明日早起きしないといけない。

(a) I have to get up early tomorrow.

(b) I've got to get up early tomorrow. (have got to = have to)

英語には、未来形がないので、推量の助動詞 will や進行形 be going to などの現在形を使って未来を表します。すでに必要なことが決まっている場合、未来でも、have/need to で OK で、will は不要です。未来の事象によって必要かどうかが変わる場合の未来には、will を使います。

I hope that there is a typhoon next Monday. Then I won't have to go to school.

×I must get up early.とはいいません。特にアメリカ英語では、I/we が「しなければならない」は、必ず have to です。ただし、繰り返しを避けるため I have to go home now. There is something I must do. (Frog and Toad Are Friends, p.56)のように最初は、have to 、次は、must で言うようなことはあります。

2 (僕は)明日、早起きをする必要はない。

(a) I don't have to get up early tomorrow. (will/won't は不要)

(b) I don't need to get up early tomorrow. (will/won't は不要)

wake up は、目覚めるという意味、get up は、ベッドから出て起き上がるイメージです。この日本語の場合、wake up は、不適切です。“I woke up at 7 a.m. and got up at 7:30 a.m.”
＝「目が覚めたのは午前7時だったけど、ベッドから出たのは、7時半だった。」

3 学生は授業中携帯電話(cell phone)を使ってはいけません。(学生手帳の中の文面)

(a) Students [must not]/[cannot] use (their) cell phones in class.

(b) Students are not allowed to use (their) cell phones during class.

in the class というと特定のクラスという意味なので、in/during class が適切。

4 すべての問題に答えなさい。答えは、必ずペン(インク)で書くこと。

Answer all (of) the questions. (問題は限定されているので ×all questions は NG)

You must write your answers [in ink]/[with a pen].

×answer to all the questions なる英文は「すべての問題への答」としては OK ですが、この訳文としては不適切。名詞 answer と違い、動詞 answer は、to X とはいけません。また、×by pen は不可。

○The answers must be written in ink. ○You must use a pen to answer them.

5 (このケーキは絶対美味しいので)それ、必ず食べてね。

◎You must try it. △You should eat it.

話者の強い意志を示します。You should try it. でも OK です。

eat というと、もぐもぐ食べる、イメージがあるので、tryの方が適切です。

×have は、「持つ」なのか「食べる」なのか不明になってしまうので NG。

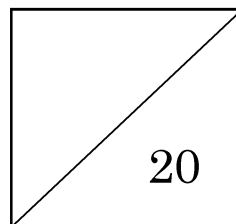
基本英作文 403

曜日

氏名

190801

次の日本語を英文に直しなさい。
括弧内は状況説明なので訳す必要はない。
4, 5 は空欄を埋めよ。



- 1 (とても本当とは思えないことを聞いて) 冗談だよね。
- 2 (Sally から電話番号を教えて貰ったので) 私は、どこかに、彼女の電話番号を持っているはずなんだけど。
- 3 (Tom は壁に向かって歩いて行ってぶつかりました。)
彼は、どこに行くか見ていなかったにちがいない。
- 4 空欄に適切な語を 1 語いれよ。
A: Joe wants something to eat.
B: But he just had lunch. He () be hungry already.
- 5 空欄に適切な語を 1 語いれよ。
A: I offered Bill something to eat, but he didn't want anything.
B: He () be hungry.

基本英作文 403 解答例 推定の must 190801

状況から論理的に判断して、十分に確信がもてる場合には、**must** を用います。

- 1 (とても本当とは思えないことを聞いて) 冗談だよね。

(a) **You must be joking/kidding.** (b) **You can't be serious.**

(c) **You are joking/kidding, aren't you?** (d) **It must be a joke.**

must : 状況から「冗談をいっている・からかっているに違いない」

can't : 状況から、「真面目な可能性はゼロ」

- 2 (Sally から電話番号を教えて貰ったので) 私は、どこかに、彼女の電話番号を持っているはずなんだけど。

I must have her phone number somewhere.

must は「論理的に考えて、そのはずだ」の意味、**should** だと、「通例のパターンとして、そのはずだ」の意味なので、この場合には **must** が適切。

- 3 (Tom は壁に向かって歩いて行ってぶつかりました。)

彼は、どこに行くか見ていなかったにちがいない。

He must not have been looking where he was going/walking.

過去のことを推定しているので、**must (not) have** 過去分詞 の形になります。

前をみて歩いていなかったという状況を表すので、進行形が適切です。

see 「見える、理解する」 **look** 「(意識的に) 見る」なので、この文脈では、**see** は不適切。

×**where to go** は、「これからどこに行こうか」という意味なので不適切。

I opened Google Maps so that I could check where to go. のような言い方なら OK です。

looking at where he was going/walking to と **where** の前に前置詞をつけるのは間違い。

- 4 A: **Joe wants something to eat.**

B: **But he just had lunch. He (can't) be hungry already.**

空腹である可能性が全く無いので、**can't** 「～のはずがない」を使います。

- 5 A: **I offered Bill something to eat, but he didn't want anything.**

B: **He (mustn't) be hungry.**

空腹なら何か食べるはずなので、空腹でないと推定できるので、**mustn't** 「～のはずがない」が適切。

基本英作文 404

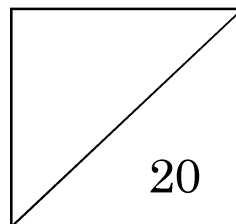
曜日

氏名

200302

次の日本語を英文に直しなさい。

括弧内は状況説明なので訳す必要はない。



- 1 それは本当かも知れない。
- 2 彼女は、もうここでは働いていないかもしれない。
- 3 （Kate に電話したのに、反応がなくて）彼女は寝ていたのかもしれない。
- 4 （Sarah は会合に来なかった。）彼女は、会合について知らなかったのかもしれない。
- 5 私達は、New York まで、飛行機で行く予定だったけど、代わりに車でいくことにした。

基本英作文 404 解答例 may/might (現在と過去) 200302

はっきり断定はできないが、可能性があることを、助動詞 **may, might** で表すことができます。過去のことについては、**may/might have done** を用います。

1 それは本当かも知れない。

(a) It may/might/could be true. / (b) Perhaps it is true. / (c) It's possible.

×It can be true. とはいけません。

2 彼女は、もうここでは働いていないかもしれない。

(a) She might/may not work here anymore.

(b) Perhaps she doesn't work here anymore.

work は、「定職として働いている」、be working は、「臨時に働いている」イメージ。

3 (Kate に電話したのに、反応がなくて) 彼女は寝ていたのかもしれない。

(a) She might/may/could have been asleep.

(b) She might/may/could have been sleeping.

(c) Perhaps/Maybe she was asleep/sleeping.

4 (Sarah は会合に来なかった。) 彼女は、会合について知らなかったのかもしれない。

(a) She might/may not have known about the meeting.

(b) Perhaps/Maybe she didn't know about the meeting.

5 私達は、New York まで、飛行機で行く予定だったけど、代わりに車でいくことにした。

(a) We were going to fly to New York, but we decided to drive instead.

(b) We were going to go to New York by plane, but instead we decided to go (there) by car.

現在の予定を will でなく、現在進行形 are going to を用いるのと同じ理由で、過去の予定は、were going to と過去進行形を用います。◎We were planning to でも OK です。

×we would fly to New York は不可。

この発言が、出発前なら、we have decided と現在完了にする方が自然です。